

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福法人 溪仁会	代表者		法人・ 事業所 の特徴	手稲区の総合病院の法人で行っており、手稲区内では知名度が高い。 特別養護老人ホーム、短期入所、通所介護、認知症対応型通所介護、居宅支援事業所、 小規模多機能型居宅介護と利用者が必要に応じて利用を選ぶ事ができる。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護つむぎ	管理者	渡辺 基士		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	1人	人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフがどのタイミングで情報収集できるのか、技術的な研修があると良い。	職員の欠員等により研修が予定通り行えていない事もある。	事業所に何時尋ねてもスタッフがきちんと挨拶され、利用者も落ち着いた空間で過ごせている。	欠員の補充を早急に行い、余裕のある事業運営、研修等への参加を実施する。接遇については引き続き継続して行く。
B. 事業所のしつらえ・環境	民家スタイルであり自然に調和されている。	維持、改善されている。	何時も利用者の笑い声が聞こえており、利用者が好きな場所で過ごせる様、家具の配置もされている。	引き続き利用者にとって過ごし易い環境を継続して作って行く。
C. 事業所と地域のかかわり	どんな所か分からない事が住民にとって不安要素である。現在の活動を継続し身近な存在になって貰いたい。	少しずつではあるが、地域交流に参加している。	お祭りやボランティアの受入をされており、草刈りやゴミ拾い等の環境保全にも努められている。	町内活動が回復した際は、活動への参加を行って行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者以外の方にも対応される相談所であって貰いたい。	相談時に訪問したり、説明したりと対応されている。	運営推進会議は利用者家族だけではなく地域包括職員や福祉事業者も参加して大変良い。	引き続き、地域の相談所としての機能を維持して行く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で地域の意見や相談を聞いて貰いたい。	定期開催を継続し意見や相談を聞いている。	町内会、利用者それぞれの立場で意見や相談を上手く集約されている。	引き続き会議を定期開催し地域意見や相談を伺って行く。
F. 事業所の防災・災害対策	町内会の事業計画にはないが、今後の町内会としての課題でもある。	BCP策定が未完成。	来年度から義務化となるBCP策定が必要である。	BCP策定を実施する。

